

## 障がい者就業・生活支援センターしもきた 所長着任あいさつ



この度、障がい者就業・生活支援センターしもきた所長兼主任就業支援員として就労支援業務に携わらせていただくことになりました。

有効求人倍率、就職率とも高い水準にはありません。むつ下北地域において障害者の就労環境の整備や雇用件数を増やしていくことは決して容易ではない環境にあります。

障害者、健常者に関わらず就労を通じての生活は地域の課題として捉え、この地域の課題に対して、当センターや地域の方々、関係機関が主体的、組織的に取り組みながら必要な資源や方法を考えていくコミュニティワークの視点に立った支援が必要と考えております。

当センターに求められる役割を職員一同意識し、関わる方々との「つながり」を大切にしたいと支援と連携を心掛けたいと思います。

よろしくお願いいたします。

## 精神障害者とはたらく

### 統合失調症とは

統合失調症は精神科入院患者の6割、通院患者の4分の1を占めており、精神科医療の主要な対象疾患となっています。

統合失調症は、若い年代で発病することが多い疾患で、大多数の人が15歳から35歳前後で発症します。その中でも10代後半から20代前半に発症のピークがあります。

一生のうち統合失調症にかかる確率は1%弱とされており、約100人に1人がかかる比較的好くある病気であると言えます。

発病の原因は不明ですが、脳に機能障害が生じて、思考・感情・行動をある目的にそってまとめていく能力が低下します。これは「神経伝達物質」の伝達が過剰であったり、低下したりすることで様々な症状を引き起こすことが明らかになりつつあります。そのため、機能異常を調整する抗精神薬という薬物を用いた治療を必要とします。



### 統合失調症の症状

症状には「陽性症状」と「陰性症状」があります。「陽性症状」の主なものとして、実在しない人の声が聞こえる「幻聴」や実際にはありえないことを信じ込む「妄想」があります。幻聴の内容は、自分の悪口やうわさ話、命令などが多く、妄想では他の人から危害を加えられるなどの被害妄想や、自分が偉大な人物と思いつつも誇大妄想が見られます。

「陰性症状」には、喜怒哀楽などの感情表現が乏しくなる。意欲や気力が低下する。会話が少なくなる。他者とのかかわりを選り好みして引きこもる。などがあります。一般的に就労するときは「陰性症状」になっている場合が多く、服薬を継続している状態です。

日常生活や職業生活において、複数のことを同時にこなすことや、臨機応変に融通をきかせて対応する。新しい状況に今までの経験を応用するなどの器用さが難しくなります。また、対人関係においても、相手の気持ちや考えを察することや、気配りなどの場面になさわしい行動をするなど、気を利かせて行動することが苦手となります。

認知機能は、記憶力や注意・集中力、物事を計画する能力、問題を解決する能力、抽象的な概念を作り上げる能力などが含まれますが、統合失調症では認知機能が脳の障害により機能しにくくなっています。

### 統合失調症の人を雇用する場合

投薬により症状が安定していても、本当に働くことが・・・?と心配に思われるかもしれません。安定して働いていくためには、仕事内容を検討することが大切になってきます。

一般的なポイントは次のとおりです。

- 手順が決まっている仕事
- マイペースでできる仕事
- 接客がないまたは、決まった手順で接客ができる。
- フルタイムではなく短時間の仕事



統合失調の方は「とっさの対応」や「変化」に弱いといった特性から、場に応じた臨機応変が求められる仕事は得意ではありません。一方、あらかじめ手順が決められ、スケジュールがはっきりし、自分のペースで仕事をする事ができれば、落ち着いた仕事に取り組んでいきやすいでしょう。

また、疲れやすく、疲れていても周囲にうまく伝えることが苦手なようです。そこでどれくらい仕事ができるか、休憩時間をいつにするかなど事前に聞き取る必要があります。……………次号へつづく

# しもきた活動紹介

## 新規就職者

今年度支援学校を卒業され、下北圏域に就職された方は7名になります。業種内訳は老人福祉、飲食、製造、小売、建設、ビル管理、原子力関連施設等多岐にわたり4月1日から元気に出社しています。

先日某企業様を訪問した際に当事者から、お話を聞かせてもらいました。真新しいユニフォームを身につけ、目をキラキラさせながら話す姿に安ど感を覚えるとともに在学時には想像できなかった、たくましさに驚かされてしまいました。

「仕事が楽しい。」「早くひとりでできるようにになりたい。」「貯金したい。」等の希望を持ち、働くことを楽しんでいるようでした。

感染症対策のため訪問できていない職場にお勤めの方については電話連絡等で企業担当者に確認を行っています。



令和2年 しもきた事業実績 (4. 30現在)

登録人数	186人
在職者	99人
今年度就職者	11人
相談支援件数	121件

## 感染症対策について

■新型コロナウイルスに感染しないようにするために一般的な感染症対策や健康管理を心がけましょう。

### (1) 手洗い

#### 正しい手の洗い方

手洗いの前に  
・爪は短く切っておきましょう  
・時計や指輪は外しておきましょう



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

### (2) 普段の健康管理

普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ免疫力を高めましょう。

### (3) 適度な湿度を保つ

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。加湿器などを使用して部屋の湿度を50～60%に保ちましょう。

■ほかの人にうつさないために

### 咳エチケット

咳くしゃみをする場合、マスク、ティッシュ・ハンカチ、袖、腕の内側などを使って口や鼻をおさえる。

### 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



マスクを着用する (口・鼻を覆う)      ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う      袖で口・鼻を覆う

新型コロナウイルスに対する感染症対策として、青森県内のお祭りや催事が次々と中止になり、弘前の桜まつりや青森ねぶたなどの中止が発表されました。

県民としては非常に複雑な気持ちになりますが“命”を守るための決断と考え、人が集まることを避け、ウィルス感染に危険なことであると認識し、自分や家族を守るための行動をとっていきましょう。

